



勉学環境、改善してみませんか？



みなさんは、現在の勉学環境*で満足していますか？

「もっとこういう講義ならしっかり学べると思うのに！」

「これを勉強するためには、カリキュラムにこの科目があった方がいいと思う」

「自習したいんだけど……。いい場所がないなあ」

こういった思いを抱いたことのある人は、いるんじゃないでしょうか？

しかしながら、現在の府大では、こういった学生の声は勉学環境の改善に反映されにくい状況にあります。また、今回の大学改革の学部再編においても、学生や教職員の「学問」に関する意見はあまり取り入れられていませんでした。

そこで学生自治会は、教員や大学執行部と一緒に“学問”について継続的に話し、よりよい勉学環境について考える「学生・教職員勉学環境改善委員会（仮）」の設置を目指しています。

※ 勉学環境とは、単位の取りやすさなどではなく、講義の内容・カリキュラム・学習のための設備など、大学で学ぶにあたって必要かつ根本的なものを指します。



そのためのステップとして、

- 高橋副学長とともに勉学環境の改善に対する懇談会「白熱教室 in 大阪府立大学」を実施しました。
- 学生とともに行う勉学環境の改善運動（以下、学生FD*）が盛んな大学の先生による、学生FDの意義や実践についてのセミナー「学生と変える大学の教育」が開催されました。

※ FDとは、Faculty Developmentの略で、一般的には教員に授業の内容や方法改善させるための、大学の組織的対策を指します。



これらを足掛かりに、みなさん、勉学環境の改善に対してちょっと動いてみませんか？

「白熱教室 in 大阪府立大学」「学生と変える大学の教育」に関する詳細は次ページへ！

「白熱教室 in 大阪府立大学」を開催しました！

学生自治会と教育推進課が共同し、「白熱教室 in 大阪府立大学」を開催し、以下の内容を行いました。

1. 学生FDを行っている事例の紹介
2. 現在の府大が抱える勉学環境の問題点の洗い出し
3. その問題点に対する意見交換
4. 「提言」として、その問題点に対する改善方法を学生の視点から導出



1に関してはあまり興味のない参加者の方も多かったようですが、2～4については、活発なグループワークが行われていました。とくに最後のフィードバックのための「提言」の発表時間では、学生の参加者だけではなく、見学に来ていた教職員も含めた全員が各問題に対して考え、意見交換を行うことができました。

この懇談会で出た意見は関係各課へ伝達され、現在、検討されています。

「学生と変える大学の教育」が開催されました！

高等教育開発センターにより、「学生と変える大学の教育」が開催され、以下の内容が行われました。

1. 学生FDとは何か
2. 学生FDの意義
3. 立命館大学での実践例
4. 全国的な学生FDの動き
5. 質疑応答

1・2により、学生FDとはどういったものなのかを再確認することができました。また、3・4では他大学での実例をもとに、府大ではどのように学生FDを行うべきかを考えることができました。加えて、質疑応答の時間ではたくさんの質問とそれに対する返答が行われ、学生FDに関してより一層理解を深めることができました。

**学生自治会は、これからも勉学環境の改善に向けて活動を行っていきます。
みなさんもぜひ、勉学環境の改善について 考えてみてください！**